

平成28年度事業計画書

【 平成28年度基本行動方針 】	1 ページ
【 総務部・業務計画 】	2 ページ～4 ページ
【 供給部・業務計画 】	5 ページ～6 ページ
【 血漿分画促進部・業務計画 】	7 ページ

【 平成28年度基本行動方針 】

公益財団法人としての社会的使命を役員及び全職員が自覚し、定款第3条に掲げる「本事業団は、血液由来製剤等を必要とする患者、医療関係者及び医療機関に対し総合的な血液供給事業を行い、献血血液による血液事業の円滑かつ適正な推進及び発展に寄与することを目的とする。」という理念に基づき、平成28年度の基本行動方針を策定し、以下の活動を通じてその具現化に専念します。

1. 本事業団は日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センターとの契約に基づき、従来どおり、より効率的、確実な血液供給・製品搬送システムを強化し、ここ数年来実施してきた東京都赤十字血液センターとの業務連携を基盤に、各機関のニーズを的確に捉え、適正に対処していきます。
2. 社会から信頼される供給体制の確立のため、供給過誤防止、交通事故・違反の防止を図ることを最重要課題とし、職員教育・手順書の整備・インシデントレポートシステムの活用の充実化を図るとともに、コンプライアンスの推進を強化していきます。また、東日本大震災を教訓として防災体制を充実・強化していきます。
3. 昨年12月に東京都赤十字血液センターの新宿への移転に伴い、供給部の新宿移転、渋谷支所の閉所、辰巳支所の開所が滞りなく完了しましたが、本年6月には駒込支所閉所と葛飾支所開所が予定されています。それらが支障なく、スムーズに進められるよう、今後も日赤本社や日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター、東京都赤十字血液センターと緊密に情報交換をとりながら進めていきます。
4. 昨年4月から一般社団法人日本血液製剤機構（JB）製造の旧赤十字製品について、血液センターが販売を終了し、一般卸売問屋が扱うようになり、都内においては、当事業団が販売していたため、予想以上の打撃を受けました。赤十字ブランドを失った影響は、今後も続くと思われませんが、本年4月の薬価改定に向けて医療機関への訪問を密に行い、取引継続をお願いし、安定供給の面から第Ⅷ因子製剤であるクロスエイトMCをはじめとする献血由来血漿分画製剤の国内自給の推進に努めて参ります。

【 総務部・業務計画 】

1. 車両整備及び車両装備計画

- 平成28年度は緊急自動車7台、普通自動車1台を代替更新し、普通自動車1台を減車する。

	平成27年度 予定保有台数	平成28年度 廃車予定	平成28年度 配備予定	平成28年度 予定保有台数
緊急車両	56 台	7 台	7 台	56 台
普通車両	19 台	2 台	1 台	18 台
合 計	75 台	9 台	8 台	74 台

2. 職員の充足及び教育研修計画

(1) 職員の充足計画

		平成27年 4月1日	平成27年度 退職予定	平成28年度 採用予定	平成28年度 予算定員
職員数		136名	4名	2名	134名
内 訳	男性職員	112名	3名	2名	111名
	女性職員	17名	0名	0名	17名
	男性嘱託職員	4名	1名	0名	3名
	女性嘱託職員	3名	0名	0名	3名

(2) 教育研修計画

- 各種教育、研修、講習会等を実施し、各職員の資質の向上を図る。特に車両運転に関しては外部研修会等に参加させ、運転技量の向上、安全運転の推進をする。

3. 血液製剤の供給業務委託契約等について

(1) 輸血用血液

- ・ 東京都内における輸血用血液の日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センターとの契約は前年度に引き続き、「輸血用血液の供給にかかる業務委託契約」(いわゆる供給手数料)によって実施する。

(2) 血漿分画製剤

- ・ 各メーカーから血漿分画製剤を直接仕入れ、販売を行う。
各メーカー（一般社団法人日本血液製剤機構(JB)、
日本製薬株式会社、帝人ファーマ株式会社等)

4. 調査研究及び広報普及事業

(1) 調査研究

- ・ 日本血液事業学会、日本輸血・細胞治療学会等に参加し、演題の発表及び報告書の作成を行う。

(2) 広報普及活動

- ・ 下記の会合を実施し、関係機関に対する情報提供、適正使用のための啓発、献血思想の普及向上等の活動を行う。
 - (ア) 医療機関に対する血液事情等の説明会の開催
 - (イ) 東京都赤十字血液センターと業務運営に関する連絡会議の実施
 - (ウ) 各種団体、企業への献血協力依頼
 - (エ) 血液製剤供給業務途上における各種広報普及活動の実施(車両用広報ステッカー等の作成)
 - (オ) 献血ルームにおける献血者への協力・呼び掛け等の実施

5. 防災訓練

- ・ 東京都、各市区町村主催の防災訓練に参加するとともに、広域需給体制に対応したより実践的な自主防災訓練を実施する。
 - (ア) 合同防災訓練
 - ① 平成28年度東京都・葛飾区・墨田区合同総合防災訓練に参加予定
 - ② 平成28年度東京都・島嶼総合防災訓練に参加予定
 - ③ 八王子市総合防災訓練に参加予定
 - (イ) 事業団独自に行う自主防災訓練の実施

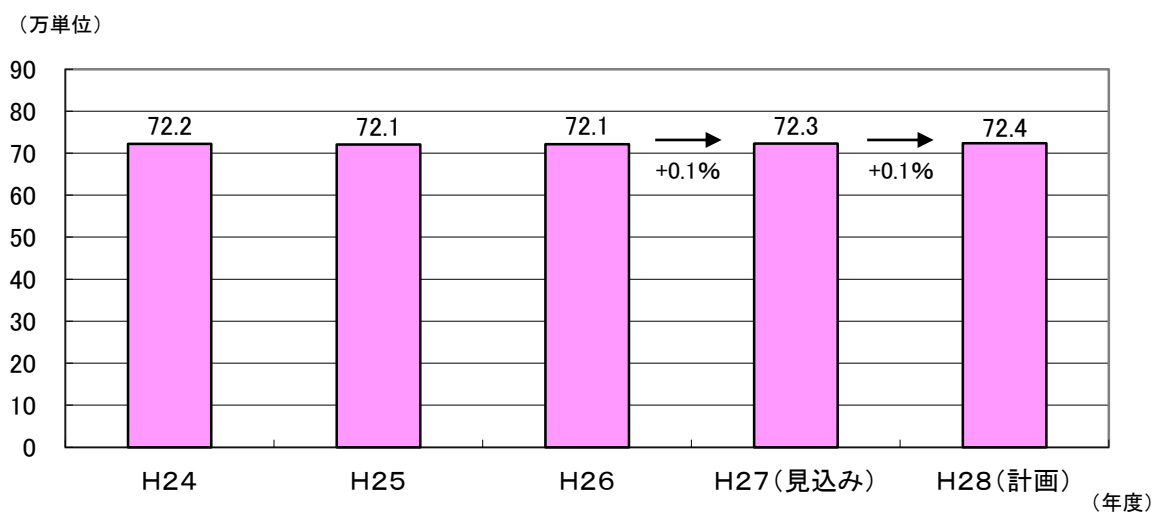
【 供給部・業務計画 】

1. 輸血用血液供給計画

(1) 赤血球(単位換算)

平成27年度見込み	722,500 単位
平成28年度計画	723,500 単位

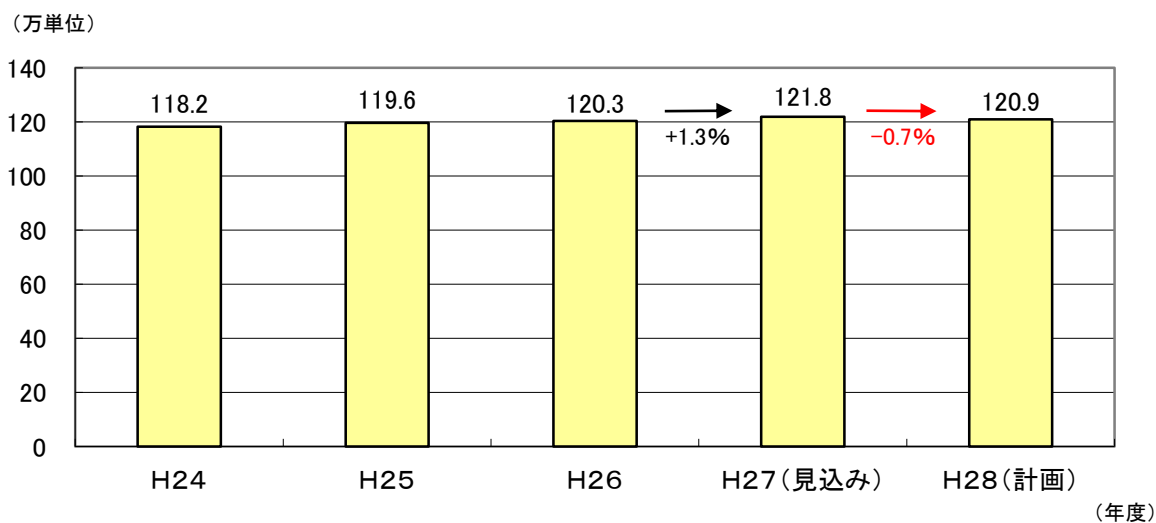
(対前年比100.1%)



(2) 血小板(単位換算)

平成27年度見込み	1,218,100 単位
平成28年度計画	1,209,100 単位

(対前年比99.3%)



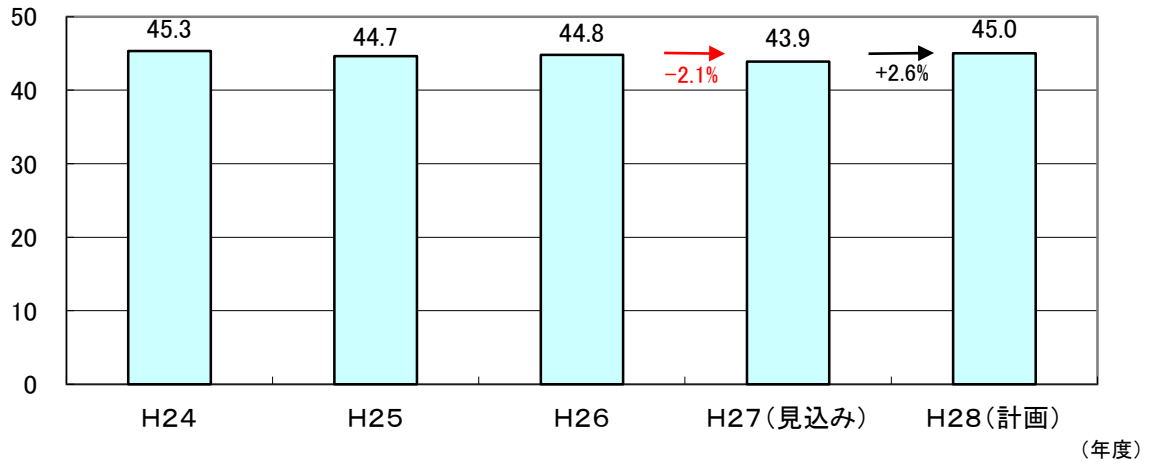
(3) 新鮮凍結血漿(単位換算)

平成27年度見込み 438,800 単位

平成28年度計画 450,250 単位

(対前年比102.6%)

(万単位)



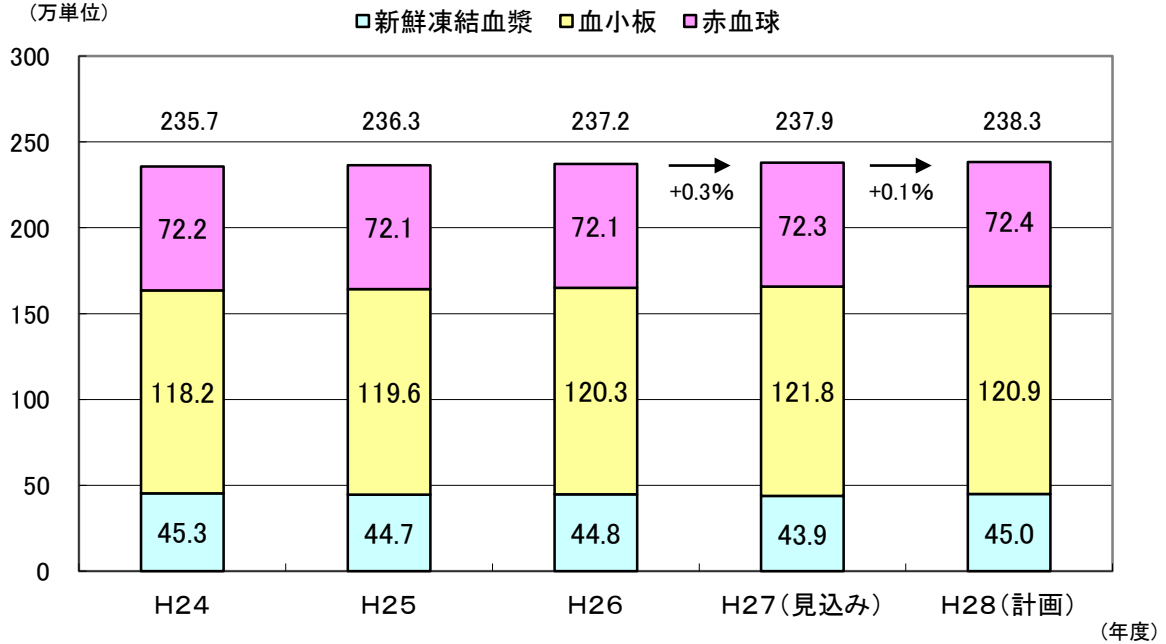
(4) 総供給数(単位換算)

平成27年度見込み 2,379,400 単位

平成28年度計画 2,382,850 単位

(対前年比100.1%)

(万単位)

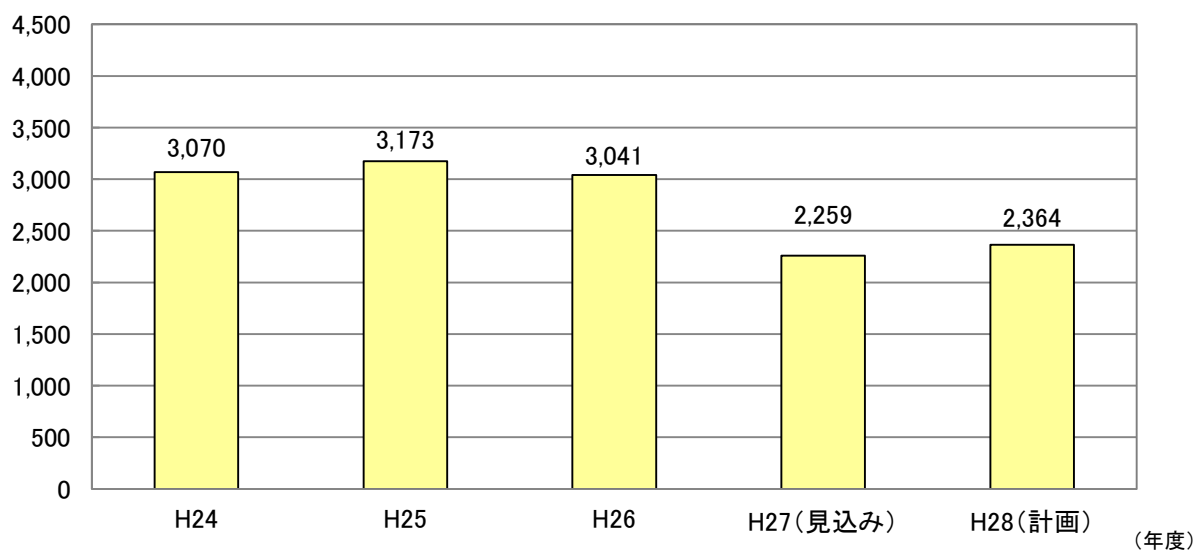


【 血漿分画促進部・業務計画 】

1. 血漿分画製剤、その他医薬品の供給計画

平成27年度見込み	2,258,730 千円
平成28年度計画	2,363,849 千円

(単位 百万円)



2. 医療用器具等の販売計画

平成27年度見込み	114,379 千円
平成28年度計画	110,285 千円

(単位 百万円)

